

## お知らせ・会務報告

## 日本甲虫学会第6回大会ご案内

日本甲虫学会第6回大会を次の要領で開催することになりました。会員の皆様には奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。次号では、さらに詳細についてご案内できる予定です。最新の情報は、甲虫学会のウェブサイトより催し物のご案内をご覧ください。

## 重要事項のまとめ

- 会場：北九州市立自然史・歴史博物館（福岡県北九州市）
- 会期：2015年11月21日（土）～22日（日）
- 参加申込：10月1日まで
- 発表・分科会申込：8月31日まで（講演要旨は10月1日まで）先着順
- 大会参加費・懇親会費（予定）：
  - 大会参加費 2,000円（一般）、1,000円（学生）
  - 懇親会費 5,000円（一般）、4,000円（学生）
  - （10月2日以降の申込は参加費・懇親会費共に1,000円増）
  - 大会当日に徴収いたします。
- 申込先：minoshima@kmmh.jp（担当：蓑島悠介）

## 大会概要

会場：北九州市立自然史・歴史博物館（いのちのたび博物館）（805-0071）福岡県北九州市八幡東区東田2-4-1）ウェブサイト：<http://www.kmmh.jp/>

最寄り駅はJR鹿兒島本線スペースワールド駅です。詳しくは博物館ウェブサイトのご利用案内<http://www.kmmh.jp/access/>をご覧ください。

会期：2015年11月21日（土）～22日（日）

主催：日本甲虫学会 主管 日本甲虫学会第6回大会事務局（北九州市立自然史・歴史博物館内）

共催：北九州市立自然史・歴史博物館

大会事務局：北九州市立自然史・歴史博物館

電話：093-681-1011 ファックス：093-661-7503 E-mail: minoshima@kmmh.jp（担当：蓑島悠介）

## 大会日程（予定）

## 1日目：11月21日（土）

大会受付開始	09：30～
評議員会	10：00～12：00
総会	13：00～14：00
日本甲虫学会賞授与式・受賞講演	14：00～14：30
公開シンポジウム	14：30～16：45
「生物多様性条約と甲虫研究：名古屋議定書・ABS問題」（予定）	
懇親会（大谷会館）	18：00～20：00

## 2日目：11月22日（日）

標本同定会・ポスター発表コアタイム	9：10～10：50
一般講演（口頭発表）	11：00～12：00, 13：00～15：45
分科会	16：00～17：00

\*時間は都合により変更する可能性があります。

## 参加および発表申込

以下の項目をご記入の上、原則電子メールでお願い致します。受け取りましたら返信致しますので、返信をご確認ください。メールでの申し込みができない方は、事務局（担当：蓑島）まで、ファックスか郵便でお申し込みください。

参加申込は10月1日締切、発表申込は8月31日の締切です（必着）。  
申込先アドレス：minoshima@kmmh.jp

○大会・懇親会参加申込

10月1日までに、次の内容をお知らせください

- 1) お名前（漢字とよみ）
- 2) 一般・学生の別
- 3) 所属（とくにない方は都道府県名を名札に入れさせていただきます）
- 4) 専門分野・対象分類群
- 5) 連絡先住所
- 6) 連絡先電話番号
- 7) メールアドレス
- 8) 懇親会参加の有無
- 9) 同定会講師の協力の有無

○発表申込

8月31日までに、次の内容をお知らせください。講演要旨（500文字以内）は10月1日までに提出してください。

- 1) 口頭・ポスターの別
- 2) 発表題目
- 3) 発表者氏名（共同発表の場合は全員の氏名・所属）

時間・スペースがいっぱいになり次第、受付を終了致します。また、ポスター発表は無料スペースで行う可能性があり、その際は一般の来館者もご覧になれます。

口頭発表は質疑含めて15分です。ポスターは約840ミリ×2020ミリのボードを用意いたしますので、それに収まるよう作成してください。

○分科会申込

8月31日までに、世話人と分科会名をお知らせください。ただし、会場とプロジェクト数が限られるため、会場がいっぱいになり次第、受付を終了致します。パソコンの貸出しはいたしません。

**参加費（予定）**

大会参加費：2,000円（一般）、1,000円（学生）高校生以下は無料（ただし要旨集は実費）

懇親会費：一般5,000円、学生4,000円 ＊社会人学生は一般です

10月2日以降の大会・懇親会のお申し込みはそれぞれ1,000円増になります（事務局着日）。参加費は当日徴収する予定です。

**その他**

本大会は事前申し込みが原則です。多くの方にご参加いただけるよう、なるべく配慮いたしますが、懇親会の飛び入り参加などはお断りすることがあります。お早めにご連絡頂けると幸いです。

懇親会は、大谷会館（官営八幡製鐵所社員専用クラブの建物を利用）を予定しています。懇親会場は博物館および駅から若干の距離がありますが、徒歩数分で飲食店街がありますので、二次会にご利用ください。

土日の博物館は混雑が予想されます。駐車場が満車になることもありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、宿泊施設はお早めのご予約をお勧めいたします。

博物館付近には芝生の広場やいろいろな空間・隙間がありますが、テント泊はできませんのでご注意ください。

（大会事務局 蓑島悠介）

## 東京例会開催のお知らせ

2015年第2回例会を下記の通り開催致します。奮ってご参加ください。

**日時** 9月5日(土曜日) 10:00～16:30  
**場所** 国立科学博物館附属自然教育園講義室  
 (正門を入れて右手の建物)

[交通] JR山手線「目黒」駅東口より目黒  
 通り徒歩7分。または、東京メトロ南北線  
 /都営三田線「白金台」駅出口1より目黒  
 通り徒歩4分。

### 当日の企画

#### 1 談話会：10:00～13:00

自由な歓談の時間として会場を開放いたします。ミニ同定会や蘇虫会(自分にはさほど必要ない虫を必要とされる方に譲る会)など、内容には特に制約がありませんので、お気軽にご参加ください。

#### 2 話題提供：13:00～15:00

##### ① 岸本圭子：「東南アジア熱帯雨林の植食性甲虫の季節性と植物との関係」

熱帯雨林は甲虫を含む生物の多様性がたいへん高い地域で、植物を食べる昆虫についても、その寄主植物との関連で興味深いテーマがたくさん存在します。演者は、ボルネオ島の熱帯雨林で、クレーンやタワー等を使って地上数十メートルの林冠にアプローチし、調査研究を展開されてきました。今回は主にハムシ科の甲虫を題材に、非季節的に咲く植物の斉開花にどのように訪花昆虫が対応しているのかという問題や、DNAバーコーディングを利用して寄主植物を明らかにするという話題等、熱帯の昆虫を扱った生態学のホットな話題を紹介いたします。

参考図書：「虫をとおして森をみる(文一総合出版)」

##### ② 桐山 哲：「外来種クビアカツヤカミキリの被害・防除状況と得られた生態的知見」

埼玉県草加市で発生している外来種クビアカツヤカミキリの被害・防除状況と得られた生態的知見についてお話いたします。

##### ③ 深谷 緑：「フトカミキリ亜科のカミキリムシおよびコガネムシの生態」

現在、研究を進めておられるフトカミキリ亜科のカミキリムシやコガネムシのフェロモン、視覚、振動などの生態情報の利用についてお話いたします。

#### 3 一人一話：15:00～16:30

(東京例会運営幹事 高橋和弘 〒259-1217 平塚市長持 239-11 E-mail: kazu5@mg.scn-net.ne.jp)



## 2015年度日本甲虫学会賞選考委員会

「日本甲虫学会学会賞授与規程」に基づき、評議員の互選によって2015年度の学会賞選考委員7名を選出しました(ただし、選考の公平・公正性の観点から委員名は公表しません)。また、選考委員の互選により、新里達也氏が学会賞選考委員長に選ばれました。委員会は、論文賞、功労賞および奨励賞の各賞候補者を選定し、評議員会への諮問とその承認を経て、候補者を決定いたします。

(庶務幹事 亀澤 洋・岸本年郎)

## 大阪秋季例会開催のお知らせ

2015年度第2回大阪例会を下記の通り開催いたします。皆様、多数ご参加ください。

**日時：**2015年9月26日(土) 10時-16時40分

**場所：**大阪市立自然史博物館(大阪市東住吉区長居公園1-23) Tel. 06-6697-6221

HP: <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/> 通用門よりお入り下さい。

**プログラム：**

10:00 ~ 12:00	自由懇談・同定会, 大阪例会運営幹事会
12:00 ~ 13:00	昼食, 休憩
13:00 ~ 13:30	会務報告会・例会事務連絡
13:30 ~ 15:30	講演
15:40 ~ 16:40	「一人一話」会
17:30 ~ 19:30	懇親会(場所: アサヒビアケラー・アベノ) 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-36 Tel. 06-6641-6282

**懇親会会費：**4,500円(飲み放題)

**講演：**「日本およびインドネシア・スラウェシ産デオキノコムシ亜科の分類学的現状」

**演者：**小川 遼氏(神戸大学大学院農学研究科 昆虫多様性生態学研究室)

**要旨：**デオキノコムシ亜科はそれぞれの種が互いに類似し、同定が困難であるものの、雄交尾器を観察することで比較的簡単に分類を行うことができる。しかし、東南アジアを中心として分類学的研究は未だ遅れている。演者は、これまでスラウェシ島と日本のデオキノコムシ亜科を対象として、形態および分子情報に基づいて分類学的及び系統分類学的研究を行ってきた。本講演では、スラウェシ島と日本産デオキノコムシ亜科の現段階の分類学的現状を概説し、さらに、スラウェシ産種の生物地理学的起源も紹介する。

例会・懇親会の事前の参加申し込みは不要です。当日、例会参加者はお茶代・資料代として200円を徴収いたします。懇親会は当日受け付けます。

### 2015年度年末例会・忘年会の予定

年末例会:12月12日(土) 10時~16時40分。自由懇談会・同定会, 大阪例会運営幹事会, 会務報告会, 「一人一話大会」または講演会の予定。

忘年会(アサヒビアケラー・アベノ, 17:30~19:30)の予定。

(大阪例会運営幹事 澤田義弘 E-mail: sawada-f@gol.com)

## 【公示】 2015年度奨励賞候補者の募集について

「日本甲虫学会学会賞授与規程」に従い、今年度の「奨励賞」候補者を募集します。奨励賞は、「年齢35歳以下の若手会員を対象とし、過去数年間(5年程度)に著しい成果を挙げ、将来を嘱望される会員に授与する」こととなっており、会員による他薦か自薦とし、候補者は、あらかじめ定める期日以内に、簡単な履歴書および業績一覧を提出する、と定められております。

つきましては、会員各位の周辺で「奨励賞」に値すると思われる若手会員にお心当たりがある方、もしくはご自身で応募を希望する方は、以下の要領で選考委員長宛に推薦、または応募いただければ幸いです。

**手続き：** 推薦または応募理由書に、簡易な履歴書と業績目録を添えて、メールで委員長宛に送付して下さい。

**書類の様式：** 任意

**宛先：** 新里達也 (e-mail: niisato-t@bioindicator.co.jp)

**応募または推薦期限：** 2015年9月末日

(学会賞選考委員会 委員長 新里達也)

## 名古屋例会開催のお知らせ

2015年度第2回名古屋例会を、下記のとおり開催しますので、ぜひご参加ください。

**日時** 2015年8月9日(日) 午前10時～午後5時

**場所** 三重県環境学習情報センター1階研修室(四日市市桜町3684-11) 東名阪「四日市IC」から車で約15分。駐車場(無料)あり。

## 当日の内容

- 1 情報交換, 同定など(午前10時～12時)
- 2 講演(午後1時～3時30分)
  - (1) 官能健次「ダルマカレキゾウムシ(*Trachodes*)属の分布と変異
  - (2) 伊澤和義「DNAから見たイクビチョッキリ属の亜属分け」
  - (3) 生川展行「東海3県のホソカタムシ」
- 3 一人一話など(午後3時30分～5時)
- 4 その他
  - (1) 車で来られない方は、近鉄湯ノ山線「大羽根園駅」から、車での乗り合わせの手配をしますので、運営幹事の生川までご連絡ください。
  - (2) 大会終了後は、懇親会も開催いたします。
  - (3) 昼食や飲物は必ず持参してください。



(名古屋例会運営幹事 生川展行 tritoma@mecha.ne.jp Tel 059-374-1054)

## 定期購読のご案内

## 月刊むし

B5判, 56～80頁 毎月20日発売  
定価1260円(送料100円)

「月刊むし」は、1971年3月に創刊された昆虫専門の月刊雑誌で、30年以上続いて発行されています。過去のバックナンバーの内容はむし社HPをご覧ください。  
<http://homepage2.nifty.com/mushi-sha/>



## 532号 (2015年6月号)

- 日本の面白蝶・探索シリーズ(10) 京都府のスジボソヤマキチョウ
- ミチノクスカシバ発見記
- 里山の歴史を探索(2)
- 田淵行男の昆虫と山岳の著作目録
- インド北東部で得られたクワガタムシ科の3新種
- 西イリアン昆虫ツアー報告3
- サビナカボソタマムシの採集例
- シロアリモドクヤドリバチの記録

## 昆虫用品は

むし社

検索

## 「月刊むし」定期予約購読

本誌は一般書店での販売のほか、定期予約購読も行っております。定期予約の場合、送料は無料で、次のように誌代も割引となりますので、ぜひご利用下さい。

6ヶ月予約 定価 7560円 → 7300円  
12ヶ月予約 定価 15120円 → 14600円  
24ヶ月予約 定価 30240円 → 29200円

## お申し込み方法

郵便振替用紙に「月刊むし予約」と明記のうえ、下記の口座あてにご送金ください。  
郵便振替口座 00160-5-159262 むし社  
新規お申し込みは、当月発売分よりとさせていただきます。



月刊むし・昆虫図説シリーズ 4

## 日本のマルバネクワガタ

- 掲載個体数273頭!
- 島ごとの特徴と違いがよくわかる。
- かつてない詳細な解説!
- 豊富な野外体験を基にした生態も解説。
- 息を呑む、採集記15話!

著者: 定木良介・林 辰彦・土屋利行  
A4判136頁(48カラー頁)  
定価 8,424円(税込み) [送料サービス]

むし社

〒164-0001 東京都中野区中野 2-23-1-209

Tel. 03-3383-1461~1462

Fax. 03-3383-1467



## 自然保護委員会報告

### 報告1 東九州自動車道建設に伴う麿松池における希少種保全対策工事の完了と共用の開始について

東九州自動車道建設に伴う環境改変によって、キボシチビコツブゲンゴロウをはじめ多数の希少な水生甲虫類への影響が懸念されていた麿松池（福岡県上毛町）の保全対策として進められていた池を跨ぐ高架橋が完成し、平成 27 年 3 月 21 日には同工事区を含む東九州自動車道豊前 IC～宇佐 IC 間が開通し共用が開始された。

共用開始後の 4 月 22 日に開催された「第 11 回東九州自動車道上毛町域における環境保全及び道路構造に関する委員会」（荒谷と本学会員中島淳氏が委員として出席）では、関連工事終了後に実施された水生昆虫類の生息状況調査の結果として、キボシチビコツブゲンゴロウをはじめとする希少種の安定した生息が確認されたことがデータとともに報告された。また、本年度末までの環境モニタリング調査の継続も約束された。委員会に合わせて実施された現地視察では、高架橋直下の水面にも日光が届き水生植物の繁茂が確認されたほか、委員会での決定を受け、橋周辺の施設にも昆虫が飛来しにくい波長の LED 照明が設置されるなどの保全策が実行されていることも確認した。次回の委員会（最終）は本年 11 月に実施され、池環境の今後の継続的な保全管理を地元住民とも協議する予定である。

### 報告2 与那国島自衛隊基地建設現場視察の実施について

平成 27 年 5 月 26 日、与那国島自衛隊基地建設現場の視察が実施され、甲虫類の専門家として、本学会自然保護委員の苅部治紀氏と北野忠氏、および荒谷が参加した。今回の視察は 4 月 19～20 日にかけて観測された時間雨量 130 ミリという記録的豪雨による工事への影響、特に南牧場工区内に設置された 2 つの代替池への影響確認のために急遽実施されたものであったが、幸い、代替池への豪雨の影響は小さく、代替池には移植した水生植物の順調な定着や各種水生昆虫類の生息が確認された。

工区視察後には、久部良港で工事用資材の搬入状況を確認し、資材への移入生物混入防止策の徹底を現場監督者に指示・要望した。

### 報告3 三重県津市白塚海岸カワラハンミョウ保全活動に対する「後援：日本甲虫学会自然保護委員会」の付記について

長年、三重県津市白塚海岸カワラハンミョウ保全活動に参加してこられた本学会自然保護委員の乙部宏氏より、自然保護委員会に対し、本年 7 月に三重県立総合博物館で開催される同県内の昆虫関連団体の活動報告を紹介する企画展で使用する「白塚の浜を愛する会」によるカワラハンミョウの保全活動を紹介するパネル中に「後援：日本甲虫学会自然保護委員会」を付記したい、との発議が 5 月 17 日にあった。

本件に関して、電子自然保護委員会での承認を経て、電子評議員会で審議した結果、1) 白塚海岸のカワラハンミョウ保全活動に関しては、本学会から 2010 年 4 月 26 日付で三重県知事宛に「津市白塚海岸における絶滅危惧種カワラハンミョウの保全と植栽クロマツの撤去等に関する要望書」を提出した経緯があり、それ以降、毎年、学会への経過報告もされていること、2) 一昨年豊橋大会シンポジウムでも取り上げたように、本学会としても海浜性の希少種保全の重要性を今後ともアピールしていくべきであること、などの観点から展示パネル中に「後援：日本甲虫学会自然保護委員会」を付記することが承認された。

（文責：委員長 荒谷邦雄）